



平成28年3月18日

世界に冠たる研究大学へ「異分野基礎科学研究所」を設置

量子宇宙・ニュートリノ研究、光合成・構造生物学、超伝導材料・デバイス科学研究の研究基盤を強化し、研究レベルにおいて世界トップ100位に入ることを目指す

岡山大学は4月1日、世界的レベルの研究所「異分野基礎科学研究所」を本学津島キャンパスに新たに設置します。本研究所は、本学の強みである「物理学」と「基礎生命科学」の研究基盤を強化するため、量子宇宙・ニュートリノ研究、光合成・構造生物学、超伝導材料・デバイス科学研究を一体的に進める研究所です。本研究所では、基礎物理学から基礎生命科学を貫く異分野交流の視点をもって基礎科学の推進を図るとともに、21世紀の緊縛の課題であるエネルギー問題解決と産業技術革新の土台となる応用科学研究を推進します。また同日午後より、看板上掲式を挙げる予定です。

本研究所の基盤となる本学の3つの研究組織である「極限量子研究コア」「光合成研究センター」「エネルギー環境新素材拠点」では、第2期中期目標期間中（平成22～27年度）に、*Nature/Science*での論文公表数7件、高被引用論文数37件、インパクトファクター9.5以上の論文数27件など、世界トップクラスの研究機関に匹敵する研究成果を生み出しています。

今回、設置する同研究所には、3つの研究組織に関わってきた教員を、従来の兼任型から専任型の教員として研究所に集約するほか、海外から著名な研究者を招聘し研究グループを発足させることによって、世界トップレベルの研究成果を持続的に発信することができ

<異分野基礎科学研究所 3コア13研究分野>

1) 量子宇宙研究コア

原子物理学を基礎にするニュートリノ物理学の推進と基礎数理科学の研究（4分野）

- ニュートリノ質量分光研究分野 ●先端光量子科学研究分野
- コヒーレント量子科学研究分野 ●数理基礎科学研究分野

2) 光合成・構造生物学研究コア

光合成の機構解明と人工光合成の実現（4分野）

- 構造解析研究分野 ●機能解析研究分野 ●人工光合成研究分野 ●客員研究分野

3) 超伝導・機能材料研究コア

高温超伝導体の実現と超伝導物理学推進、軽元素による超伝導体開発とエレクトロニクスの展開、関連材料の開発、理化学によるエネルギー貯蔵物質の機構解明（5分野）

- 高温超伝導材料研究分野 ●超伝導物性評価研究分野
- 軽元素超伝導・エレクトロニクス研究分野 ●新機能材料合成研究分野
- エネルギー貯蔵物質研究分野



PRESS RELEASE

<異分野基礎科学研究所の設置理念>

- 「物理学」「基礎生命科学」を中心とする基礎科学の学理の究明と関連する応用の開拓ならびに国際的な視野に基づく研究の推進
- 世界的なレベルの研究成果の群としての創出
- 光合成とデバイスの研究の交流を通じた新しいデバイスの創造など、異なる分野間の研究交流を通じた旧来の枠に留まらない新しいサイエンスの創造
- 国際的に活躍する世界的レベルの次世代の研究者層の育成
- 岡山大学の基礎科学研究の世界トップレベルへの押し上げを通じて、我が国の基礎科学研究レベルの向上に貢献する
- 岡山大学の研究推進システムの抜本的な改革のためのパイロット的な役割を果たす

図別途添付

<お問い合わせ>

岡山大学大学院自然科学研究科（理）

教授 久保園 芳博

（電話番号）086-251-7850

（FAX番号）086-251-7903